

## 阿弥陀岳山行報告

【山城】八ヶ岳連峰

【日程】2018年1月27日（土）～1月28日（日）

【天候】1月27日（土）晴れ、1月28日（日）晴れのち曇り

【参加メンバー】CL 柘植、SL 佐藤、江橋、上荒磯、菌田、堀田  
松本、室（達）、飯田

【行程】1月27日（土）千葉⇒中央道南諏訪IC⇒美農戸口駐車場⇒御小屋山  
不動清水付近（幕営）  
1月28日（日）幕場⇒阿弥陀岳（往復）⇒美農戸口駐車場⇒帰葉

### 【記録】

1月27日（土） 柘植班、佐藤班の2班に分かれ、八ヶ岳をめざし早朝の千葉を出発した。寒波到来中ではあるものの天気は上々、風も穏やかで空はどこまでも青かった。

中央道では渋滞もなく順調に走り続け、途中左手に南アルプスが現れると、その姿は夏のそれとは異なり、厳かな雰囲気を漂わせ「自信無き者立ち入るべからず」とでも言っているかのようだ。

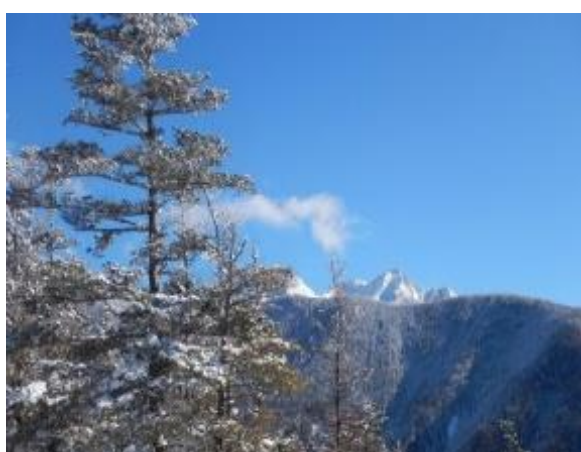
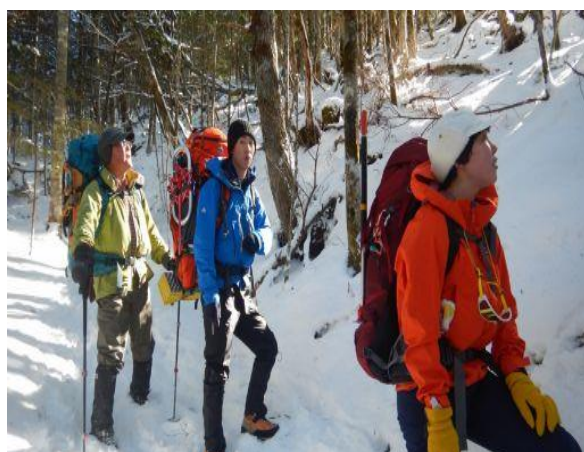
八ヶ岳PAで合流後、諏訪南ICで降り、程なく八ヶ岳山荘前の駐車場に到着した。駐車場には多くの車が駐車していて冬の八ヶ岳の人気をうかがわせている。

駐車場を出発し別荘地を抜けて御小屋尾根を歩き始めるがトレースは無く、どうやら寒波到来後我々が初めてのようで、ここはマイナールートなのだと改めて気づかされた。雪質はパウダースノーでラッセルと言うほどでもなく、アイゼン無しでもスムーズに歩ける。寒さもそれほどでもなく、ビルの谷間に吹く風や、世間の風のほうがよっぽど冷たいよ。

それでも徐々に高度を上げていくとズルズルと滑り出しアイゼンを装着する。どうやら凍った雪の上に新雪が積もっているらしい。御小屋山に到着して小休止。樹林に囲まれていて、指導標が無ければ気づかない山だ。左に目をやると赤岳と横岳が少しだけ顔を見せている。ただのお湯が妙に旨い。一息入れてさあ、出発だ。このあたりまで登るとさすがに雪深くなってくる。幕営予定地の

不動清水はまだ先にある。

どれくらい歩いたであろうか、不動清水まではまだ距離はあるものの平坦な場所に出て幕営地とした。結果的にはここが正解で、不動清水辺りはテントを張るには平坦な場所は無く不向きな場所だった。ザックを下ろし、休む間もなくテントの設営に取りかかる。スコップで雪を掘り、踏み均して二張分を確保。人数が揃っていれば設営もスムーズだ。設営完了すると次は水作りに取りかかる。コッヘルに雪を入れてガスバーナーで溶かすのだけれども、これがなかなかすぐには溶けなくて時間がかかった。おかげでテント内は多少暖かくなったけどね。水を確保したらお楽しみの夕食の時間。柘植さんチームはお酒で体を暖めながらあれやこれやとよもやま話に花を咲かせ、各々が簡単な食事で済ませたけれど、佐藤さんチームを覗いたら鍋パーティーを開いていました。寒い夜は鍋に限ります。キムチうどんをご馳走になりました。美味しかったです。体が暖まったところで明日に備えて早めにシュラフにもぐり込んだ。







明日はあの赤く染まる阿弥陀岳へ。



1月28日（日）朝5時過ぎに起床。早速水作りに取り掛かりお湯を沸かす。ただのお湯なのに寒いせいかやけに美味しい。天気予報によると午後から下り坂だが、どうやら登山には影響なさそうだ。

朝食を済ませ7時に出発。柘植さん、堀田さん、室さんが交代しながら前を進め、しんがりの佐藤さんが後方から目を光らせる。積雪は膝くらいでトレースは無く、ラッセルしながらの前進で進むのに時間が掛かる。なんとも申し訳ないが自分は体調が優れず、後方でゆっくり刻むように前を歩くことにした。

空は雲が覆い始めてはいるが、下界はまだ青空で、諏訪湖や市街が見渡せる。森林限界が近くなると、視界がだんだん悪くなり強風が吹き出す。風速15m位はあるだろうか、ジャンプでもしたら体を持って行かれそうだ。時には耐風姿勢をとって突風が過ぎるのを待つことも。

途中、空の青さと周囲の風景を楽しむこともなく、強風に耐え、アイゼンが外れてしまいヨレヨレになりながらもどうにか頂上に立つことができた。が、疲労困憊で目の前にそびえ立つ赤岳、横岳に感動する気持ちもわからず、頂上には阿弥陀像が安置されているそうだけれど、これまた探す余裕など全くなし。感動で胸がいっぱい、ではなくて疲労で体はいっぱいいっぱい。集合写真を1枚撮ったらさっさと下山開始。途中、一度小休止を入れただけで転げ落ちるようにテン場まで戻った。

テントを撤収し美濃戸口の駐車場へ。足は思うように上がらないが、無事に駐車場へ到着。帰葉の途中で寄った温泉で体を温めると息を吹き返すようだった。今回の阿弥陀岳で雪山講習は最後になりましたが、初めてづくしでいろいろ経験させてもらいました。一人で歩いていたら間違いなく諦めていたと思います。ピークに立てたのは皆さんのおかげです。ありがとうございました。









記録：いいだ